

青南を みんなの 心のふるさとに



青南だより

令和2年 春休み号

港区立青南幼稚園

園長 新山 裕之

＜突然のお別れにも心を込めて＞

2月28日は、朝会で先生たちに、もしかすると今日が最後の一日になる可能性もあることを伝え、保育が始まりました。しかし、区から臨時休園の正式な通知が届いたのは、昼食を食べている頃でした。突然の知らせに悲しい気持ちになりながらも、年中児はお別れ会でプレゼントしようとしていたランチョンマットに急いでメッセージを書いて泣きながら届けたり、年長児は小さい組にお世話になりましたと、挨拶に行ったりするすてきな姿が見られました。

＜修了をお祝いする心がつながって＞

年長保護者の皆さんは、その前日も、修了を祝う会の準備や練習をしていたにもかかわらず、一年間準備をしていた会ができなくなってしまいました。その思いを察して、年中保護者の方々が声を掛けてくださって、在園児親子で修了児親子を見送る花道ができあがりました。電話でその相談を受けたときには、涙が止まりませんでした。短時間でそれを形にしてくれた保護者の皆さんの行動力、何より相手を思いやる優しい心に感謝の気持ちでいっぱいになりました。

＜どんなことにも前向きに！＞

今回は終業式、修了式も普段通りとはいきませんが、実施できることに感謝して、心を込めて行いたいと思います。修了式には、年少年中からは映像でメッセージを届けられたらと思っています。誰も経験できない、特別な時間になるはずです。日本中がじっと我慢をする春となりましたが、この我慢が次の大きな飛躍のエネルギーとなると信じています。この一年、皆さんと共に過ごすことができて本当に幸せでした。心から感謝しています。本当にありがとうございました。

青南の 二十四節気

・・・青南は みんなの 心のふるさと・・・

都会でありながら、南青山・青南幼稚園には豊かな自然がたくさんあります。青南はみんなの心のふるさとです。今年度も、この街や園内外の自然の移り変わりに心を寄せて、「青南の二十四節気」をお届けしてきました。それは、身近な自然との関わりが、子どもたちの心を育てる情操教育にとって大事だと思うからです。

暖冬だった今年、かえでの木は、3月になると新芽が芽吹き始めました。桜のつぼみも、どんどん膨らんで、みんなが久しぶりに幼稚園に来る頃には二分咲きほどでお祝いしてくれるかもしれません。

終業式で、年少年中には一年間をしっかりと終えたことをお祝いする手作りの修了証書を渡します。4月からは、幼稚園の新しい弟妹を迎えて先輩となりますから、毎朝元気に幼稚園に通ってくれることが何より大切です。年長は、修了証書をもらって、いよいよ4月からは1年生です。ランドセル姿を楽しみにしています。修了おめでとう！



急遽皆さんが集まって花道ができあがりました



大勢の皆さんに拍手で見送ってもらって



3年間遊び込んだ園庭の築山で



新芽が芽吹き始めたシンボルツリーのかえで



暖かさに誘われてさくらも咲き始めました